

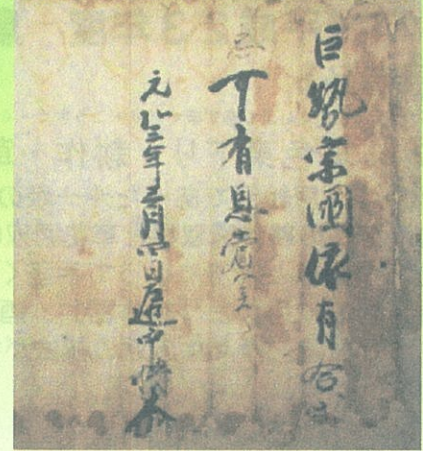
だいせん しんじ
大山のもひとり神事

※霊水を採取しているところ



〈山頂で霊水と薬草を採取する
大山の原初信仰行事〉

あいみけもんじょ
相見家文書（複製品）
（保護文化財 古文書）



〈全国でも珍しい天皇の直筆文書〉

鳥取県新指定文化財速報展

平成23年度

～とっりの宝物をご紹介します～

平成24年4月4日(水)～5月6日(日)

入館時間：午前9時～午後5時

鳥取県立博物館 1階

歴史・民俗常設展示室（歴史の窓コーナー）美術常設展示室

※休館日：5月1日（火） 常設展の入館料（一般：180円）がかかります。大学生以下無料。

※70才以上の方・学校教育活動での引率者・障がいのある方・要介護者及びその介護者は減免となります。

主催 鳥取県教育委員会

協力 指定文化財所有者の皆様・鳥取市教育委員会・米子市教育委員会・岩美町教育委員会・大山町教育委員会



けんぼんちゃくしよくあずまくだり・こうさく・くさばなす

絹本著色東下り・耕作・草花図（保護文化財 絵画）

おきいちが

〈鳥取藩絵師・沖一峨の五幅対による大作〉

《平成23年度 鳥取県新指定文化財速報展 出品リスト》

【展示品】

けんぼんちゃくしよくあずまくだり・こうさく・くさばなず

●絹本着色東下り・耕作・草花図（1階常設展 美術展示室）H24. 2. 24指定

鳥取藩の御用絵師であった沖一峨の作品。「伊勢物語」第九段「東下り」を中幅とし、脇に田植えと収穫を描く春秋の耕作図双幅と草花図双幅を揃える五幅対として伝来した。

狩野派の図様と筆法に従って手堅くまとめられた「東下り図」、洋風画から学んだと思われる自然な遠近表現を巧みに用いた「耕作図」、酒井抱一に学んだ江戸琳派風の「草花図」など、五幅対という規模の大きさとともに、様々な流派の技法が披露されている点も興味深く、高く評価される作例である。

あいみけもんじょ

●相見家文書（1階常設展 歴史・民俗展示室）H24. 2. 24指定

米子市八幡の相見家に伝来した南北朝期中世文書。後醍醐天皇綸旨を含む8通からなり、巨勢氏（相見氏）への恩賞、あるいは相見氏が神主をつとめる八幡宮への土地の寄進等に関する内容となっている。特に元弘3（1333）年3月の後醍醐天皇綸旨は、隠岐を脱出した後醍醐天皇が船上山から発給したもので、左近中将（千種忠顕）の名前で書かれているが、筆跡等から天皇の自筆であることがわかる珍しいものである。

後醍醐天皇の動向や相見氏の南北朝期から室町期にかけての動向をうかがわせるものであり、また伯耆守護研究にとっても重要な内容を含んでいることから、鳥取県の中世史研究上、極めて貴重な資料といえる。

【パネル展示】

みなみかどわきけじゅうたく

●南門脇家住宅（1階常設展 歴史・民俗展示室）H23. 11. 25指定

にいみしまだにふんきゅうぼ

●新井三嶋谷墳丘墓（1階常設展 歴史・民俗展示室）H23. 11. 25指定

きゅうひんはんとう

●弓浜半島のトンド（1階常設展 歴史・民俗展示室）H23. 11. 25選択

だいせん

しんじ

●大山のもひとり神事（1階常設展 歴史・民俗展示室）H24. 2. 24指定

新指定文化財速報展とは

◇速報展とは◇

新たに鳥取県指定文化財となった文化財を知っていただくための展示会です。

◇鳥取県指定文化財について◇

絵画や彫刻といった美術工芸品、建造物、庭園や歴史資料、民俗芸能・風俗慣習、史跡や天然記念物など、鳥取県にとってかけがえのない価値を持つものことです。



〈 展 示 場 所 〉